

常任委員会

産業労働警察委員会

- 【取り扱う事項】
- 産業労働部の所管に属する事項
 - 公安委員会の所管に属する事項
 - 労働委員会の所管に属する事項



副委員長 委員長

えんどう やすひろ 遠藤 康洋 [5期] 自民 倉敷市・都窪郡

おの やすひろ 小野 泰弘 [7期] 自民 総社市

せんだ ひろみち 千田 博通 [10期] 自民 倉敷市・都窪郡

もとやま こうじ 本山 紘司 [1期] 自民 津山市・苫田郡・勝田郡

やまもと まさひこ 山本 雅彦 [2期] 自民 津山市・苫田郡・勝田郡

あらしま としなり 荒島 俊造 [2期] 公明 岡山市南区

とり い りょうすけ 鳥井 良輔 [2期] 自民 倉敷市・都窪郡

おぐら ひろし 小倉 博 [1期] 自民 赤磐市

おぐら ひろゆき 小倉 弘行 [5期] 自民 岡山市中区

土木委員会

- 【取り扱う事項】
- 土木部の所管に属する事項
 - 収用委員会の所管に属する事項



副委員長 委員長

たかはし かいりゅう 高橋 戒隆 [6期] 自民 倉敷市・都窪郡

わたなべ ひで き 渡辺 英気 [7期] 自民 倉敷市・都窪郡

あま の がく 天野 学 [9期] 自民 笠岡市

おおし かずあき 大橋 和明 [1期] 自民 岡山市南区

わたなべ ともり 渡辺 知典 [2期] 自民 浅口市・浅口郡

なかがわ まさこ 中川 雅子 [3期] 自民 岡山市東区

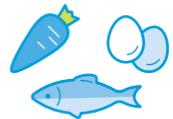
すみよし よしひさ 住吉 良久 [7期] 自民 玉野市

しみず かおる 清水 薫 [1期] 自民 津山市・苫田郡・勝田郡

えもと きみかず 江本 公一 [4期] 自民 総社市

農林水産委員会

- 【取り扱う事項】
- 農林水産部の所管に属する事項
 - 海区漁業調整委員会の所管に属する事項
 - 内水面漁場管理委員会の所管に属する事項



副委員長 委員長

しんぼう けんいち 神宝 謙一 [5期] 自民 瀬戸内市

いとう ふみお 伊藤 文夫 [6期] 自民 笠岡市

こうもと つとむ 河本 勉 [7期] 自民 岡山市北区・加賀郡

おとくら けんいち 乙倉 賢一 [1期] 自民 岡山市東区

こうの けいじ 河野 慶治 [2期] 自民 真庭市・真庭郡

やま だ そういちろう 山田総一郎 [7期] 公明 倉敷市・都窪郡

おおつか あい 大塚 愛 [2期] 自民 岡山市北区・加賀郡

いちむら じん 市村 仁 [3期] 自民 美作市・英田郡

うえだ かつよし 上田 勝義 [3期] 自民 井原市・小田郡

文教委員会

- 【取り扱う事項】
- 教育委員会の所管に属する事項



副委員長 委員長

こばやし こういちろう 小林孝一郎 [3期] 自民 岡山市南区

はすおか やすし 蓮岡 靖之 [6期] 自民 倉敷市・都窪郡

のぼる 内山 登 [7期] 自民 備前市・和気郡

しげとも 笹井 茂智 [3期] 公明 岡山市中区

きょうこ 福島 恭子 [2期] 自民 岡山市東区

はらみ ひろみ 蜂谷 弘美 [5期] 無所属 岡山市北区・加賀郡

たかはら としひこ 高原 俊彦 [4期] 自民 岡山市北区・加賀郡

ふくだ つかさ 福田 司 [1期] 自民 岡山市北区・加賀郡

たの たかあき 田野 孝明 [1期] 自民 津山市・苫田郡・勝田郡

6月定例会

県議会を振り返る

代表質問から

6月定例会は、6月14日から会期22日間で開かれ、諸議案の審議を終えて7月5日に閉会しました。

この議会に知事から提出された議案は、予算案3件、条例案20件、諮問案件1件、報告案件1件及び人事案件3件の計28件でした。

また、議会提出の発議案は、「地方財政の充実・強化を求める意見書案」など、2件が可決されました。

6月17日には代表質問が行われ、上田勝義議員(自由民主党)、大塚愛議員(民主・県民クラブ)、荒島俊造議員(公明党)の3名の議員が県政の諸課題について会派を代表して質問を行ったほか、6月22日から25日までと29日の計5日にわたり19名の議員が一般質問を行いました。



新型コロナウイルス感染症について
(ワクチン接種)

共同体制の構築による利便性の向上と県営接種会場の設置により、ワクチン接種を加速しているが、引き続き、環境の整備や医療機関及び市町村の負担軽減に取り組んでほしい。医療従事者などの接種を実施し、市町村の体制整備などを支援してきたが、どんな課題があったのか。また、課題を踏まえどう支援するのか。



ヤングケアラーの理解促進について

国の実態調査から、本県でもヤングケアラーとして生活や学習に困難を抱える児童生徒が相当数いると考えられるが、認知はまだ低く、教育などの現場で確認されても課題解決に至っていないケースもある。家族の世話や介護で重い負担を抱える児童生徒が孤立や学業不振に陥らないようにするため、相談しやすい環境づくりが必要だが、教員や児童生徒への理解促進をどう考えるか。



新型コロナウイルス感染症について
(職域接種の推進)

国は、企業単独や中小企業などの共同接種、学生を含めた大学などの職域単位での接種を可能としている。企業などは、原則として、医療従事者や会場などを自ら確保の上、接種計画を提出することになるが、県は医療従事者の確保のサポートなどを主体的に推進すべきだ。職域接種推進の取り組みについて伺いたい。

接種の担い手となる医療従事者の確保のため、市町村や地元医師会と調整してもなお不足する場合は、県医師会の広域調整により担い手の確保を図ったところである。また、ワクチンの具体的な配分量などの情報がなかなか得られず、予約枠の設定が立てにくいという課題があったが、国へ実情を伝え、一定の改善がなされているところである。引き続き、市町村や関係機関などと連携を図りつつ、必要な支援に努め、県営接種会場での接種を進めることなどにより、接種がさらに加速するよう取り組んでまいりたい。

管理職や担当者に研修を実施するほか、スクールソーシャルワーカーの概念や課題とその背景、支援の必要性について、教職員への理解を深めてまいりたい。また、児童生徒に対しては、ヤングケアラーについて学ぶ機会を設け、支援を受けられることなどを理解させるとともに、教職員が児童生徒の変化に気づき声をかけるなど、安心して相談できる信頼関係の構築や雰囲気づくりを努めてまいりたい。

基本的には、国が示す枠組みに従い、医療従事者や会場の確保などについては、企業などが自ら対応していただく必要があるが、県としては、接種を加速させるためにも職域接種は有効であると考えており、県独自に説明会を実施するとともに、企業などからの相談に丁寧に対応しているところである。

一般質問を 行った議員

6月22日(火)

- 渡辺 知典
- 須増 伸子
- 小林 孝一郎
- 太田 正孝

6月23日(水)

- 鳥井 良輔
- 小倉 博
- 増川 英一
- 福島 恭子

6月24日(木)

- 本山 紘司
- 柳田 哲
- 乙倉 賢一
- 秋山 正浩

6月25日(金)

- 山本 雅彦
- 大森 一生
- 小林 義明

6月定例会 議決結果

- 予算案……………3件可決(3件中)
- 条例案……………20件可決(20件中)
- 諮問案件……………1件答申(1件中)
- 報告案件……………1件承認(1件中)
- 人事案件……………3件同意(3件中)
- 委員会発議……………2件可決(2件中)

用語解説

ヤングケアラー
家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子ども。